「臨床インシデントのシステム分析：ロンドン・プロトコル 2024（日本語版）」初版

訳語変更のお知らせ

本書における 8 つの寄与要因の各区分を指す語について表現を改めました。お詫びして訂正いたします。

原語	4.3. Contributory factors: eight levels of safety
変更前	4.3 寄与要因：8 つの安全水準
変更後	4.3 寄与要因：安全に関する 8 つの階層

訳語変更に伴い、本文および本書内の関連する記述について、以下の箇所を修正しました。

変更箇所	修正前	修正後
2 頁（目次）	4.3 寄与要因：8 つの安全水準	4.3 寄与要因：安全に関する 8 つの階層
9 頁（3.1 節：本文）	そうした寄与要因には，設備の設計やチームワークといったケアに直接影響を及ぼす要因と，Reason のモデルで提示されたより高度な組織的プロセスの両方が含まれる.	そうした寄与要因には，設備の設計やチームワークといったケアに直接影響を及ぼす要因と，Reason のモデルで提示されたより上位階層の組織的プロセスの両方が含まれる.
13 頁（4.3 節：見出し）	4.3 寄与要因：8 つの安全水準	4.3 寄与要因：安全に関する 8 つの階層
13 頁（4.3 節：本文）	寄与要因のフレームワークは，様々なレベルで医療の安全と質の決定要因となっている幅広い要因を考慮するように臨床医とリスクマネージャーを促す効果があるため，インシデント分析の有用な指針となる.	寄与要因のフレームワークは，様々な階層で医療の安全と質の決定要因となっている幅広い要因を考慮するように臨床医とリスクマネージャーを促す効果があるため，インシデント分析の有用な指針となる.
15 頁（4.3 節：本文）	そこには，影響をもたらす可能性がある臨床的要因とより上位の組織的要因の両方が含まれている.	そこには，影響をもたらす可能性がある臨床的要因とより上位階層の組織的要因の両方が含まれている.
15 頁（4.3 節：本文）	分析の各レベルを拡張して，主要な要因の構成をより詳細に規定することも可能である.	分析の各階層を拡張して，主要な要因の構成をより詳細に規定することも可能である.
32 頁（9.1 節：本文）	勧告には，患者に焦点を置いた措置やスタッフ，業務，チームに焦点を置いたものなど，8 つのレベルすべてが含まれる可能性がある.	勧告には，患者に焦点を置いた措置やスタッフ，業務，チームに焦点を置いたものなど，8 つの階層すべてが含まれる可能性がある.
33 頁（9.2 節：本文）	検証チームは調査結果を振り返り，スタッフの技能や態度，チームワークの質，スタッフの労働条件，その他の要因に対する影響を検討し，寄与要因のフレームワークのすべてのレベルで変化の可能性を探求することができる.	検証チームは調査結果を振り返り，スタッフの技能や態度，チームワークの質，スタッフの労働条件，その他の要因に対する影響を検討し，寄与要因のフレームワークのすべての階層で変化の可能性を探求することができる.

なお群馬大学　多職種人材育成のための医療安全教育センターのホームページでは、修正後の第 2 版の PDF を公開しています。

https://psec.med.gunma-u.ac.jp/files/LondonProtocol2024_JPN.pdf

群馬大学　多職種人材育成のための医療安全教育センター